

座長へのご案内

- 座長の方は、セッション開始15分前までに各会場へお越しのうえ、進行係に声を掛けてください。
- 発表時間、質疑応答時間を厳守し、円滑な運営にご協力をお願いいたします。

発表者へのご案内

■発表言語

- 特別講演、シンポジウム：英語
- 一般口演：英語(大会の国際化のため、例外を除き英語での発表をお願いします)
※シンポジウム、一般口演とも、討論は英語・日本語どちらでも結構です。
- 教育講演：日本語

■発表時間

- シンポジウムは座長の指示に従ってください。
- 一般口演は発表10分、討論5分です。

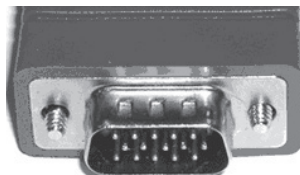
■発表は各自お持込みのPCを使用したPCプレゼンテーションに限ります

- 本大会の発表は、PCプレゼンテーションに限らせて頂きます。各自ノートパソコンをご用意ください。
- WindowsXP、Windows Vista、Windows 7またはMac OS X以上が動作し、外部モニター出力端子を備えたPCを使用してください。
- SONYのVAIO、Mac等、モニター出力端子の形状が特殊な機種をご使用の場合は、D-sub15ピン変換アダプターを持参してください。
SONY VAIO Note C1/SR/GT/U等の一部機種や、Apple PB G4、Mac Book Pro等の機種はモニター出力の変換コネクタが必要になります。
- バッテリー切れに備え、必ず発表会場にACアダプターをご持参ください。
- 発表中にスクリーンセーバーが起動したり省電力モードにならないように設定してください。
- プレゼンテーションデータに静止画・動画・グラフ等のデータをリンクさせている場合は、そのデータも必ず保存していただき、事前に動作確認を行ってください。
- 発表に際し、音声の利用はできません。必要な場合は事前に事務局へご連絡ください。

■発表の流れ

- 発表の60分前までにご自身の発表する会場施設のPCセンター(名古屋国際会議場 1号館2階)にて動作・出力チェックをしてください。
- 発表の30分前までに、PCオペレーターデスク(発表会場内、前方向かって左端)へ、ご自身のノートパソコンを提出ください。
- 発表時の操作は、演壇上のモニターとリモートマウスを用いて、発表者ご自身で行ってください。
- 演壇上には計時回線をご用意いたしますので、時間内に完結できるようご協力ください。
※発表時は緑ランプ、終了1分前は黄ランプ、終了時には赤ランプが点灯します。
- 発表終了後、ご自身のPCをPCオペレーターデスクよりお引き取りください。

D-sub15ピンコネクタ



ポスター発表者へのご案内

ポスター会場: イベントホール(1号館1階)

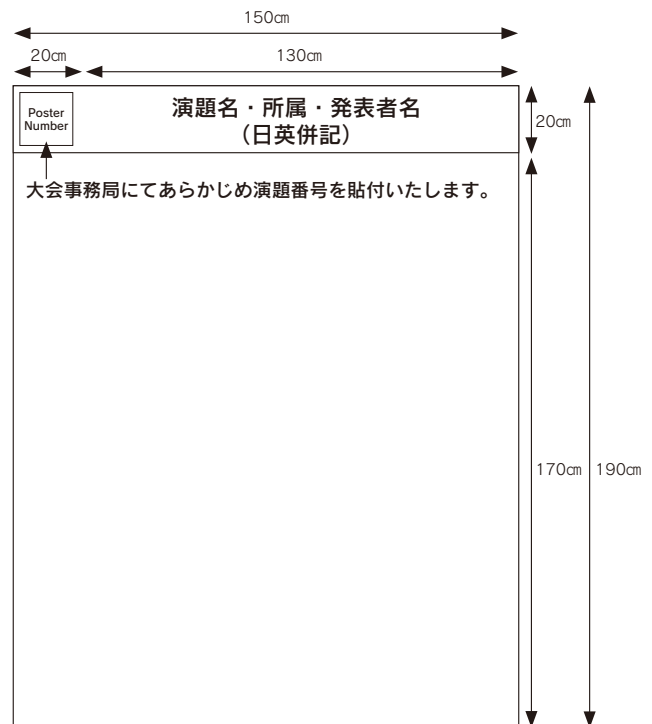
白鳥ホール(4号館1階)

【ポスター作成方法】

- ポスターは、貼付パネルのスペース内におさまるように作成してください。貼付パネルのサイズは、右図を参照してください。
- 演題名、所属、発表者名は、英語・日本語併記でご準備いただき、ポスター貼付スペースの上端部に貼付してください。
- ポスターの発表内容(図・説明)は、すべて英語で作成してください。

【発表方法】

- ポスターは、ご自身の演題番号の位置に、貼付時間内にご自身で貼り付けてください。演題番号は、あらかじめ貼付パネルに表示してあります。演題番号をよくご確認のうえ、お間違いのないようご注意ください。
- 貼付に必要な画鋏は事務局でご用意いたします。糊・セロテープは使用できません。
- リボンは下記の説明・討論の際には胸につけ、各ポスターパネルの前で参加者の質疑に応じてください(座長による進行ではございません)。
- ポスターは、毎日貼り替えとなります。ポスター撤去にご協力いただきますようお願いいたします。なお、撤去時間後も貼付されているポスターは事務局で即日処分させていただきますのでご了承ください。



発表日	貼付時間	演題番号	説明・討論	撤去時間
9月18日(火)	8:00~8:30	奇数	11:00~12:00	17:00~17:30
		偶数	13:10~14:10	
9月19日(水)		奇数	11:00~12:00	
		偶数	13:10~14:10	
9月20日(木)		奇数	11:00~12:00	
		偶数	13:10~14:10	
9月21日(金)	奇数	11:00~12:00	15:00~15:30	
	偶数	13:10~14:10		

発表資料の配色についてのお願い

日本人男性の5%（約300万人）、白人男性の約8%は、赤や緑の混じった特定の範囲の色について、差を感じにくいという視覚特性を持っています。発表資料作成の際は以下の点にご配慮いただきますよう、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

1. 2重染色やDNA チップの画像は、緑と赤ではなく緑と赤紫(マゼンタ)で表示する。
2. 3重以上の染色は、全色の重ね合わせだけでなく重要な2色だけの組み合わせも緑と赤紫で表示する(あるいは各チャンネルの図を別々に表示する。)
3. グラフや解説図では、離れた2ヵ所の色を照合するのが非常に難しいので、色分けされた各項目の内容や凡例で示すのではなく、図中に直接書き込む。また各項目は、色だけでなく線種やシンボルの形、網掛け(ハッチング)などでも区別する。
4. 赤は鮮やかな明るい色に見えないので、暗い背景に赤文字を使わない。また、青い細やかな文字は色覚にかかわらず非常に読みづらい。なるべく白や黄色、オレンジ等を使う。
詳しくは<http://www.nig.ac.jp/color/> をご覧ください。